

10. -ですが、-だから、-たら

-(으)ㄴ데

後続節で述べる内容の背景や前提になる状況を提示したり、ものを紹介する叙述文や相手の意向を問う質問の導入部としてよく使われる。理由や対立的な感性を表したりもする。形容詞には名詞の最後にパッチムがあると「-은데」、パッチムがないと「-ㄴ데」が付き、名詞は最後にパッチムがあると「-인데」、パッチムがないと「-ㄴ데」が付き、また動詞には「-는데」が付く。

-(으)니까

- ① 語幹に付いて、理由を表す。「-아/어/여서」が「-(으)십시오」、「-(으)십시오」、「-(으)니까요」の文で使うことができないのに対し、「-(으)니까」は使うことができる。語幹末にパッチムがあると「-으니까」が付き、パッチムがないと「-니까」が付く。
- ② 動詞の語幹に付いて、ある行為をした後に発見した事実や悟った事実を表す。普通、既に起こったことを説明するのに使う。過去の行為や「-았/었으니까」ではなく、「-(으)니까」の形を用いる。語幹末にパッチムがあると「-으니까」が付き、パッチムがないと「-니까」が付く。

会話のヒント

- ☆ 「-(으)ㄴ데」を使うときには形容詞、名詞、動詞の使い分けに気をつけよう!
- ☆ 「-(으)니까」①と②の使い方の違いに気を付けよう!
- ☆ 「-(으)니까」と「-아/어/여서」の違いをよく考えてみよう!

- 1 最近、一番怒った、もしくは嬉しかった時の話をしてください!
- 2 自分の勘違いで起きたハプニングがあれば話してください!

♀ キーワード

- 화나다: 怒る / ● 짜증나다: 苛立つ / ● 기쁘다: 嬉しい / ● 착각하다: 勘違いする / ● 오해하다: 誤解する /
- 해프닝: ハプニング / ● 전기밥솥: 炊飯器 / ● 죄송하다: 申し訳ない